

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 20 日(2024.11.20)

【公開番号】特開 2024-124425(P2024-124425A)
【公開日】令和 6 年 9 月 12 日(2024.9.12)
【年通号数】公開公報(特許)2024-172
【出願番号】特願 2024-102588(P2024-102588)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 11 月 12 日(2024.11.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

所定条件の成立に基づいて所定の情報を取得する取得手段と、
その取得手段によって取得された前記所定の情報を用いて判定を実行する判定手段と、
その判定手段の判定結果が特定の判定結果になったことに基づいて遊技者に有利な有利遊
技を実行することが可能な有利遊技実行手段と、を備えた遊技機において、
前記有利遊技実行手段によって実行される前記有利遊技として、特定有利遊技を少なくと
も含む複数のうち 1 の前記有利遊技を決定する決定手段と、
少なくとも前記特定有利遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有
利な特定状態を設定する特定状態設定手段と、
前記特定状態が設定された後で予め定められた特定回数の前記判定手段の判定に渡って連
続して前記特定の判定結果とは異なる判定結果となったことに基づいて、前記特定状態よ
りも有利度合いが低い所定状態を設定する所定状態設定手段と、
前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る前記特定状態が設定された後の前記判定
手段の判定の回数が、前記特定回数未満の所定回数よりも多い回数であって前記特定回数
以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記判定手
段の判定結果を示すための所定演出として所定の演出態様を少なくとも含む演出を実行可
能な第 1 演出実行手段と、
前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段
の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行され
たことに基づいて、前記所定演出として前記所定の演出態様を含まない演出を実行可能な
第 2 演出実行手段と、を備え、
前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段
の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であ
って前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定さ
れる期待値が異なるように構成されており、
前記遊技機は、
操作可能な操作手段を有し、
前記有利遊技が実行される前に設定され得る所定期間において第 1 事象が発生した場合で
あってその第 1 事象が発生した後において当該第 1 事象とは異なる事象である第 2 事象が

30

40

50

発生した場合に、前記操作手段に対して特定の操作が行われることで成立し得る特定の条件が成立していれば、前記所定期間に対応する前記有利遊技が実行されなくなるように構成されており、

前記特定状態において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る特定演出態様を少なくとも含む前記所定演出が実行され得るように構成されており、

前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、共通の割合で前記決定手段により1の前記有利遊技が決定され得るように構成されていることを特徴とする遊技機。

10

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、抽選条件の成立に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり遊技を実行するものがある。かかる遊技機の中には、遊技者にとって有利度合いが異なる複数の状態を設定可能に構成することにより遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものがある。

20

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2001-038007号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

40

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定条件の成立に基づいて所定の情報を取得する取得手段と、その取得手段によって取得された前記所定の情報を用いて判定を実行する判定手段と、その判定手段の判定結果が特定の判定結果になったことに基づいて遊技者に有利な有利遊技を実行することが可能な有利遊技実行手段と、を備え、前記有利遊技実行手段によって実行される前記有利遊技として、特定有利遊技を少なくとも含む複数のうち1の前記有利遊技を決定する決定手段と、少なくとも前記特定有利遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な特定状態を設定する特定状態設定手段と、前記特定状態が設定された後で予め定められた特定回数の前記判定手段の判定に渡って連続して前記特定の判定結果とは異なる判定結果となったことに基づいて、前記特定状態よりも有利度合いが低い所定状態を設定する所定状態設定手段と、前記特定回

50

数の判定が実行されるまで継続し得る前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記特定回数未満の所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記判定手段の判定結果を示すための所定演出として所定の演出態様を少なくとも含む演出を実行可能な第1演出実行手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記所定演出として前記所定の演出態様を含まない演出を実行可能な第2演出実行手段と、を備え、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待値が異なるように構成されており、前記遊技機は、操作可能な操作手段を有し、前記有利遊技が実行される前に設定され得る所定期間において第1事象が発生した場合であってその第1事象が発生した後において当該第1事象とは異なる事象である第2事象が発生した場合に、前記操作手段に対して特定の操作が行われることで成立し得る特定の条件が成立していれば、前記所定期間に対応する前記有利遊技が実行されなくなるように構成されており、前記特定状態において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る特定演出態様を少なくとも含む前記所定演出が実行され得るように構成されており、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、共通の割合で前記決定手段により1の前記有利遊技が決定され得るように構成されている。

10

20

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、所定条件の成立に基づいて所定の情報を取得する取得手段と、その取得手段によって取得された前記所定の情報を用いて判定を実行する判定手段と、その判定手段の判定結果が特定の判定結果になったことに基づいて遊技者に有利な有利遊技を実行することが可能な有利遊技実行手段と、を備え、前記有利遊技実行手段によって実行される前記有利遊技として、特定有利遊技を少なくとも含む複数のうち1の前記有利遊技を決定する決定手段と、少なくとも前記特定有利遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な特定状態を設定する特定状態設定手段と、前記特定状態が設定された後で予め定められた特定回数の前記判定手段の判定に渡って連続して前記特定の判定結果とは異なる判定結果となったことに基づいて、前記特定状態よりも有利度合いが低い所定状態を設定する所定状態設定手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る前記特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記特定回数未満の所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記判定手段の判定結果を示すための所定演出として所定の演出態様を少なくとも含む演出を実行可能な第1演出実行手段と、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記所定演出として前記所定の演出態様を含まない演出を実行可能な第2演出実行手段と、を備え、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待値が異なるように構成されており、前記遊技機は、操作可能な操作手段を有し、前記有利遊技が実行される前に設定され得る所定期間において

30

40

50

第 1 事象が発生した場合であってその第 1 事象が発生した後において当該第 1 事象とは異なる事象である第 2 事象が発生した場合に、前記操作手段に対して特定の操作が行われることで成立し得る特定の条件が成立していれば、前記所定期間に対応する前記有利遊技が実行されなくなるように構成されており、前記特定状態において前記判定手段の判定が実行されたことに基づいて、前記有利遊技が実行されて前記特定状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る特定演出態様を少なくとも含む前記所定演出が実行され得るように構成されており、前記特定回数の判定が実行されるまで継続し得る特定状態が設定された後の前記判定手段の判定の回数が、前記所定回数以下の回数の範囲と、前記所定回数よりも多い回数であって前記特定回数以下の回数の範囲とで、共通の割合で前記決定手段により 1 の前記有利遊技が決定され得るように構成されている。

10

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】5 4 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【5 4 1 0】

1 0	パチンコ機（遊技機）	
6 5 a	特定入賞口（第 1 入球手段）	
6 5 f	開閉扉（第 2 可変手段）	
1 6 4 5	第 2 入球口（第 3 入球手段）	20
1 6 4 5 a	普通電動役物（可変手段）	
2 6 5 5 a	特定入賞口（第 2 入球手段）	
S 1 6 3	可変制御手段	
<u>S 2 1 5</u>	<u>第 7 実施形態における有利遊技実行手段の一部</u>	
<u>S 2 3 7</u>	<u>第 7 実施形態における所定状態設定手段</u>	
<u>S 3 0 3</u> , <u>S 3 0 7</u>	<u>第 7 実施形態における判定手段</u>	
<u>S 7 0 6</u> , <u>S 7 5 8</u>	<u>第 7 実施形態における取得手段</u>	
S 9 0 6	判別手段	
<u>S 1 6 2 2</u>	<u>第 7 実施形態における特定状態設定手段</u>	
<u>S 1 7 1 7</u>	<u>第 7 実施形態における有利遊技実行手段の一部</u>	30
Z 2 2 0	特典遊技実行手段	

40

50